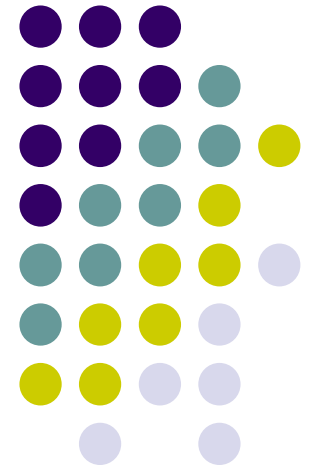


銀行とりひき相談所受付状況 (2024年2月)

2024年3月

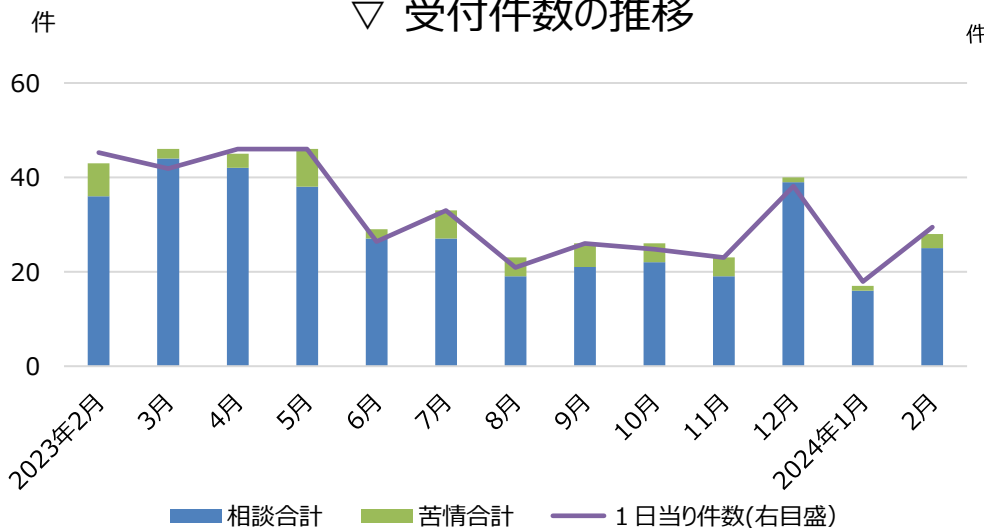




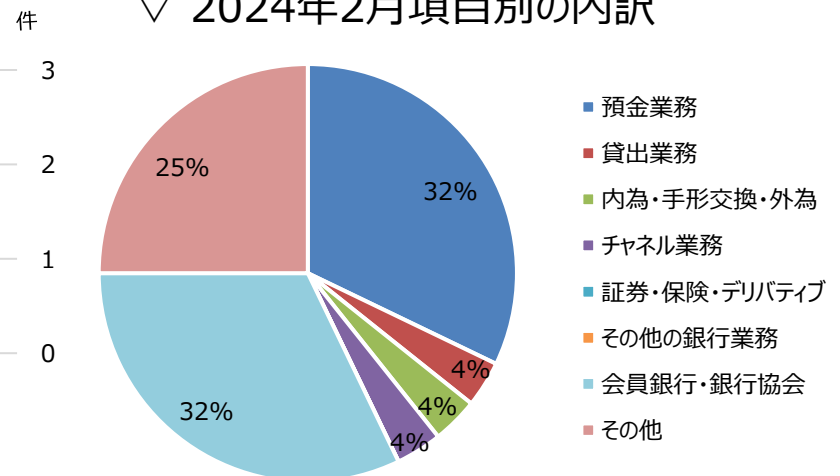
1. 受付件数の状況

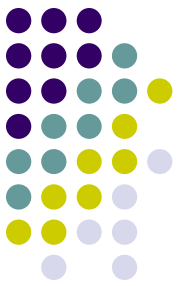
- 銀行とりひき相談所における2024年2月の受付件数は28件となり、既往ボトムとなった前月対比では+11件の増加となったが、前年同月比では▲15件の減少となり、20か月連続で前年を下回った。
 - 2月の受付件数は、事務所移転に伴う電話番号変更の影響が顕在化したとみられる昨年6月以降の月平均（27.2件）並みの水準。
 - 1営業日当たりでは1.5件となり、9か月連続で2件未満の低い水準となった。
- 受付項目別では、「預金業務」と「会員銀行・銀行協会」がそれぞれ9件（32%）、次いで「その他」が7件（25%）となった。
- この間、住宅ローンやカードローン等の返済に問題を抱えている消費者を対象としたカウンセリングサービスの利用は1件のみ。

▽ 受付件数の推移



▽ 2024年2月項目別の内訳

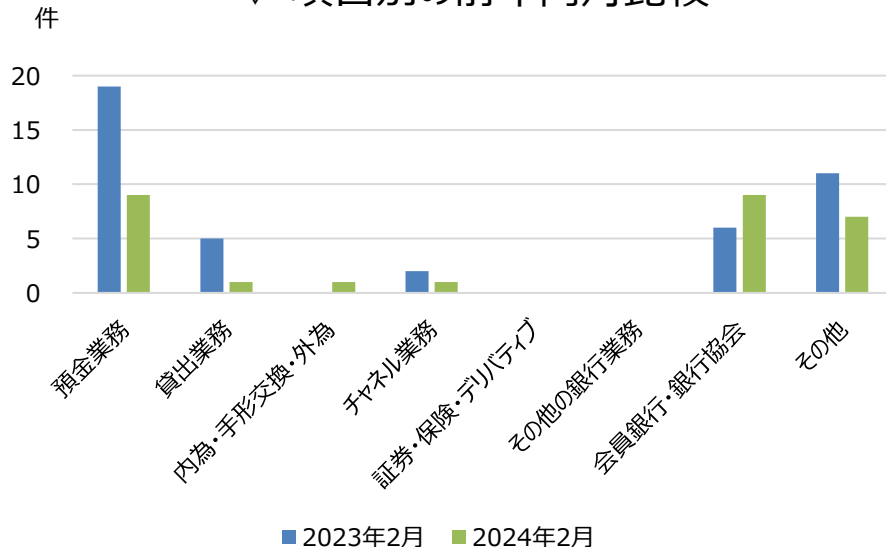




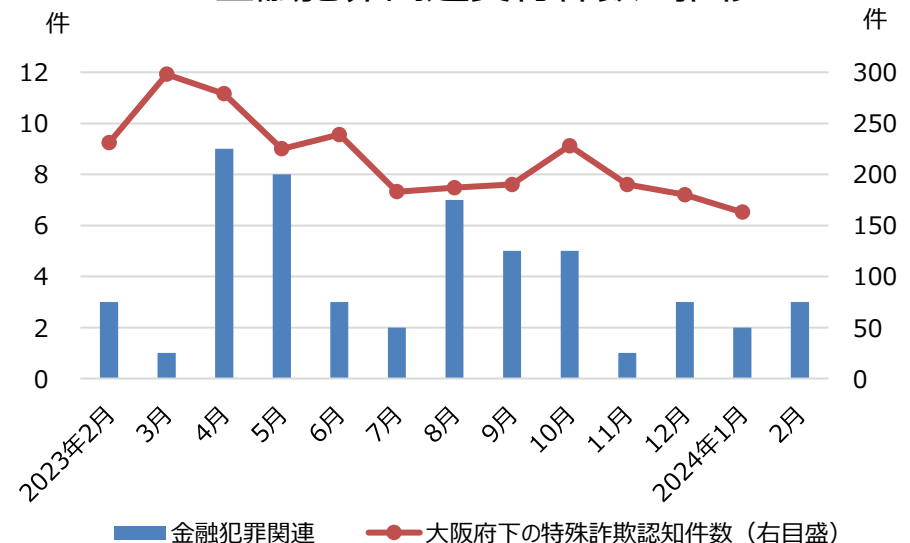
2. 2024年2月の特徴

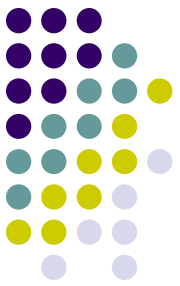
- 項目別に前年同月比の動向をみると、「会員銀行・銀行協会」が+3件増加したが、「預金業務」は▲10件、「貸出業務」と「その他」ではそれぞれ▲4件減少。
 - ― 「会員銀行・銀行協会」は、カウンセリングサービスに関する照会等が増加の主因。
 - ― 一方、「預金業務」の減少は、前年同月に目立った相続に関する照会やマネロン対策での顧客情報の確認通知に関する問い合わせ等が今年はみられなかったことが主な要因。
 - ― また、「貸出業務」は1件まで減少したほか、「その他」については、「金融犯罪関連」が3件と前年同月と同数となる中、前年同月にみられた金融機関に対する事実誤認等に伴う相談が皆無であったことなどから減少。

▽ 項目別の前年同月比較



▽ 金融犯罪関連受付件数の推移

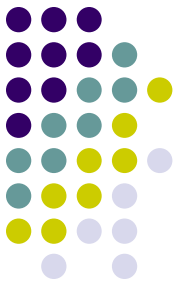




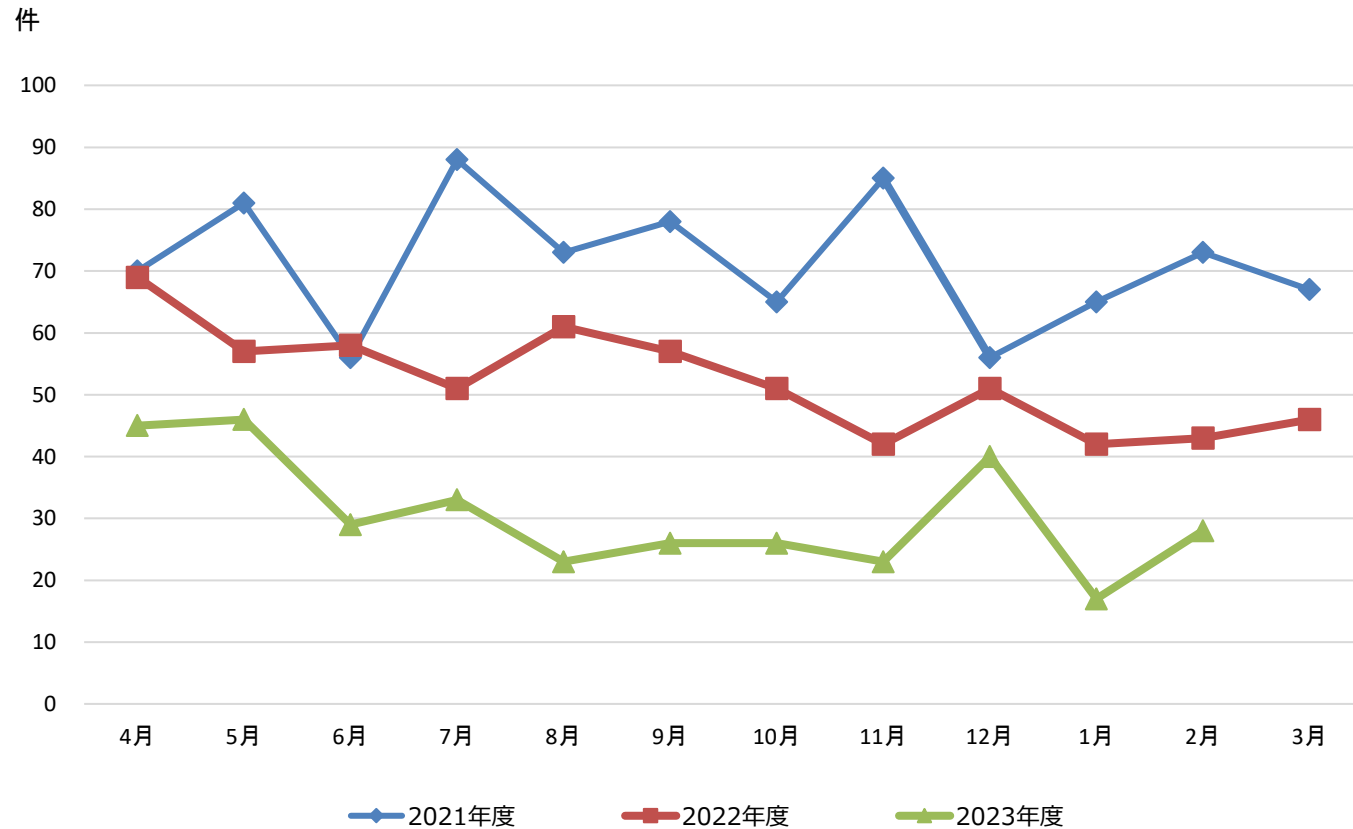
(参考 1) 銀行とりひき相談所受付件数 (2024年2月)

(単位：件)

項 目	① 相 談 ・ 照 会			② 苦 情		
		前月比	前年同月比		前月比	前年同月比
預金業務	6	2	▲ 9	3	3	▲ 1
(内信用不安)	1	0	▲ 2	0	0	0
貸出業務	1	0	▲ 3	0	0	▲ 1
貸出全般	0	0	0	0	0	0
消費者ローン	0	0	▲ 2	0	0	▲ 1
事業資金	0	0	▲ 1	0	0	0
住宅ローン	0	0	▲ 1	0	0	0
アパートローン	1	1	1	0	0	0
その他	0	▲ 1	0	0	0	0
内国為替業務	0	0	0	0	0	0
手形交換	1	1	1	0	0	0
外国為替業務	0	▲ 1	0	0	▲ 1	0
チャネル業務	1	1	0	0	0	▲ 1
証券業務	0	0	0	0	0	0
保険業務	0	0	0	0	0	0
デリバティブ業務	0	0	0	0	0	0
その他の銀行業務	0	▲ 1	0	0	0	0
会員銀行	4	3	0	0	0	0
銀行協会	5	3	3	0	0	0
その他	7	1	▲ 3	0	0	▲ 1
(内金融犯罪関連)	3	1	1	0	0	▲ 1
小 計	25	9	▲ 11	3	2	▲ 4
合 計 (① + ②)				28	11	▲ 15



(参考2) 月別受付件数の推移





銀行との取引について知りたいこと・お困りのこと
「銀行とりひき相談所」へお電話ください。

銀行とりひき相談所
06-6867-9547

- ✓ 本資料の内容について、商用目的での転載・複製を行う場合は予め大阪銀行協会までご相談ください。転載・複製を行う場合は、出所を明記してください。
- ✓ 本資料に掲載されている情報の正確性については万全を期しておりますが、大阪銀行協会は、利用者が本資料の情報をを用いて行う一切の行為について、何ら責任を負うものではありません。